

2010年3月期 第2四半期決算説明会

2009年11月9日
株式会社電通国際情報サービス

COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

AGENDA

第1部 2010年3月期第2四半期決算概況、 および通期の業績見通しについて

取締役
梅沢 幸之助

第2部 今後の経営方針について

代表取締役社長
水野 紘一

I. 2010年3月期第2四半期 決算概況

取締役
梅沢 幸之助

1. 2010年3月期 第2四半期決算サマリ

- ✓ 昨年下半年から継続している金融業・製造業・サービス業のIT投資抑制を受け、単体を中心にすべてのサービス品目で売上高が伸び悩んだ。
- ✓ ライセンス販売の減収、受託システム開発の利益率の低下により、売上総利益率が悪化。販管費は予想比抑制したものの、償却費等により前期比増加。結果、大幅減益となった。

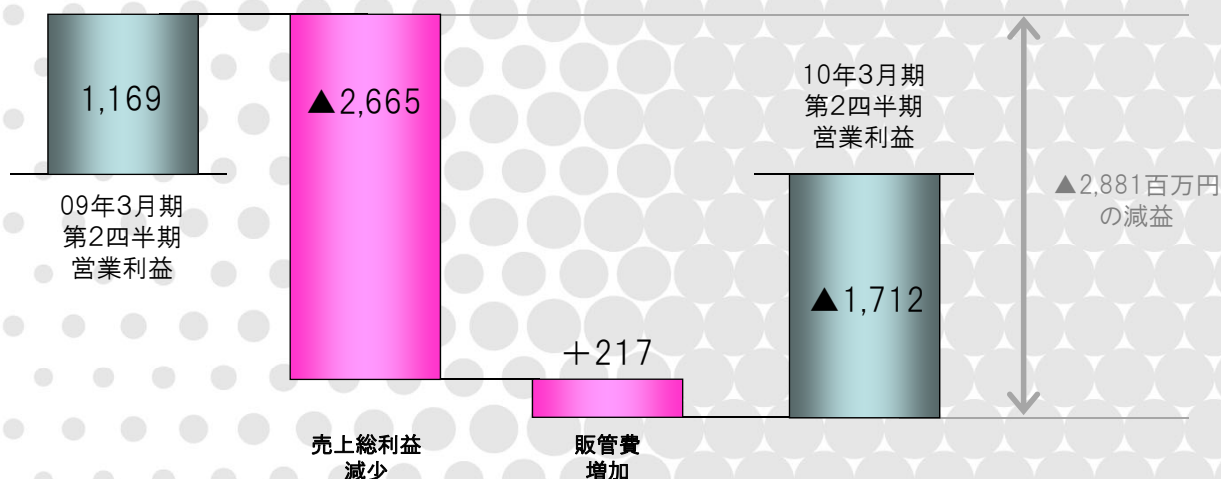
(百万円)

	10年3月期 第2四半期	前期との比較			8/7発表予想値との比較		
		09年3月期 第2四半期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	28,710	36,178	▲7,468	▲20.6%	30,224	▲1,514	▲5.0%
売上総利益	8,251	10,916	▲2,665	▲24.4%	9,080	▲829	▲9.1%
売上総利益率	28.7%	30.2%	▲1.5pts	—	30.0%	▲1.3pts	—
販管費及び一般管理費	9,963	9,746	+217	+2.2%	10,174	▲211	▲2.1%
営業利益	▲1,712	1,169	▲2,881	—	▲1,093	▲619	—
営業利益率	▲6.0%	3.2%	▲9.2pts	—	▲3.6%	▲2.4pts	—
経常利益	▲1,552	1,235	▲2,787	—	▲1,045	▲507	—
四半期純利益	▲1,303	423	▲1,726	—	▲1,210	▲93	—

2. 営業利益の増減要因(連結・前期比)

- 【売上総利益】 減収、ならびに売上総利益率の低下により、2,665百万円の減益
 【販管費】 社内システムの本格稼働に伴い減価償却費が277百万円増加したこと
 などにより、217百万円増加
 【営業利益】 結果、営業利益は▲1,712百万円の減益(前期比▲2,881百万円)

(単位:百万円)



3. 1 業種別売上高 <金融業>

単位:百万円

前期	10年3月期第2四半期	増減額	増減率
11,209	8,594	▲2,615	▲23.3%

- ✓ 受託システム開発は、主要顧客向けが海外支店システム更改案件を中心に堅調に推移するも、前期に複数の大型案件があったことによる反動減、ならびに投資抑制傾向の強い個別顧客の影響等により、大幅減収。
- ✓ ソフトウェア製品・商品は、連結会計システム「STRAVIS」、ERPシステム「Oracle E-Business Suite」が大手銀行向けに拡大したものの、地域金融機関向け融資業務支援システム「RiskTaker」、CRMシステム「e-MARKETBRAIN」等がライセンス販売を中心に減収。

3. 2 業種別売上高 <製造業>

単位:百万円

前期	10年3月期 第2四半期	増減額	増減率
14,180	10,990	▲3,190	▲22.5%

- ✓ 製品設計開発分野は、主要顧客向けの大規模プロジェクトは順調に推移。しかし全体としては、製造業の投資抑制の影響を受け、CAD/CAM/CAE等のソフトウェア商品、およびプロジェクト管理システム「Q-Style」等のソフトウェア製品のライセンスならびに導入技術支援サービスが減収。主として子会社で展開しているコンサルティングサービスも大幅減収となった。
- ✓ 基幹業務(ERP)の分野は、大手工作機械メーカー向けERPシステムの導入が拡大。インテリアメーカーから新規にERPシステム構築を受注するなど順調に推移しており、売上高は前年並みに推移。

3. 3 業種別売上高 <サービス業>

単位:百万円

前期	10年3月期 第2四半期	増減額	増減率
7,089	5,436	▲1,653	▲23.3%

- ✓ 主要顧客のIT投資抑制の影響を受け、受託システム開発、アウトソーシング・運用保守サービス、情報機器販売が大きく減少した。

3. 4 業種別売上高 <流通業・その他>

単位:百万円

前期	10年3月期 第2四半期	増減額	増減率
3,699	3,689	▲10	▲0.3%

- ✓ 単体では、主要顧客向け顧客管理(CRM)システム、ゲームソフト制作会社に対する基幹業務(ERP)システムのアドオン開発等が拡大したものの、主要顧客向け基幹業務(ERP)システムの構築が前期に終了したことによる反動減のため、ソフトウェア商品を中心に若干の減収。
- ✓ 一方、プレイネットワークスにおいて、商社、流通向けに人事管理システム「POSITIVE」のアドオン開発・導入技術支援が好調に推移したことなどにより、全体ではほぼ前年並みとなった。

4. サービス品目別売上高

- ✓ 全てのサービス品目で減収。特に、新規案件の割合が高いコンサルティングサービス、受託システム開発の減収幅が大きい。
- ✓ ソフトウェア製品およびソフトウェア商品は、ライセンス販売とそれに伴うアドオン開発／導入技術支援サービスが減収。保守も、一部製造業の投資抑制の影響を受けた。
- ✓ アウトソーシング・運用保守サービスは、前期に主要顧客向けに一時的な案件があったことによる反動減。

(百万円)

	10年3月期 第2四半期	前期との比較			8/7発表予想値との比較		
		09年3月期 第2四半期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
コンサルティングサービス	876	1,881	▲1,005	▲53.4%	1,331	▲455	▲34.2%
受託システム開発	7,808	10,399	▲2,591	▲24.9%	8,366	▲558	▲6.7%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	3,749	4,380	▲631	▲14.4%	4,340	▲591	▲13.6%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	10,027	12,690	▲2,663	▲21.0%	10,249	▲222	▲2.2%
アウトソーシング・運用保守 サービス	2,635	3,161	▲526	▲16.6%	2,656	▲21	▲0.8%
情報機器販売・その他	3,614	3,664	▲50	▲1.4%	3,280	+334	+10.2%
合計	28,710	36,178	▲7,468	▲20.6%	30,224	▲1,514	▲5.0%

5. 連結キャッシュ・フロー

(百万円)

	09年4月～ 09年9月	08年4月～ 08年9月	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	346	6,233	▲5,887
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,989	▲3,908	+1,919
財務活動による キャッシュ・フロー	▲1,041	▲1,172	+131
現金及び現金同等物に 係る換算差額	▲84	0	▲84
現金及び現金同等物の 増減額(▲は減少)	▲2,768	1,153	▲3,921
現金及び現金同等物の 期首残高	14,174	13,153	+1,021
現金及び現金同等物の 期末残高	11,405	14,306	▲2,901

今期の投資活動の主なもの

- ◆有形固定資産取得 292百万円
主にデータセンター、実験場への投資
- ◆無形固定資産取得 542百万円
販売用ソフトウェア(117百万円)、
社内システム(424百万円)等
- ◆投資有価証券取得 1,223百万円
主に株式会社ビットアイルへの出資

6. 連結貸借対照表

(百万円)

	09年 9月30日	09年 3月31日	増減
流動資産	30,298	34,293	▲3,995
固定資産	19,604	18,945	+659
資産合計	49,903	53,239	▲3,336
流動負債	15,435	17,126	▲1,691
固定負債	2,062	1,942	+120
負債合計	17,498	19,068	▲1,570
純資産合計	32,405	34,170	▲1,765
負債純資産合計	49,903	53,239	▲3,336

増減の主な要因

売掛債権の減少 ▲2,937百万円
 現金及び現金同等物の減少 ▲2,768百万円
 仕掛品の増加 +673百万円

買掛債務の減少 ▲1,138百万円
 未払法人税等の減少 ▲1,326百万円

7. ブレイニーワークスの業績

- ✓ 人事管理システム「POSITIVE」、地域金融機関向けCRMシステム「e-MARKETBRAIN」のアドオン開発が拡大するも、ライセンス販売ならびに受託システム開発が伸び悩んだことにより、減収
- ✓ 販管費の抑制により、営業損失額は減少した



(百万円)

	10年3月期 第2四半期	前期との比較		
		09年3月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	3,503	3,818	▲315	▲8.3%
営業利益	▲46	▲141	+95	—
営業利益率	▲1.3%	▲3.7%	+2.4pts	—
グループ内売上比率	9.0%	15.1%	▲6.1pts	—
従業員数(人)	350	378	▲28	—

2010年3月期 業績予想

8.1 2010年3月期 業績予想

- ✓ IT投資抑制傾向は当面継続すると考えており、10/29付けで、8/7発表予想を修正
- ✓ 売上高は、下期が▲5.2%、通期が▲12.7%減収の予想
- ✓ 各種経費の抑制に努めるも、自社利用ソフトウェアの償却費などにより販管費が増加することから、営業利益は大幅減益の見通し

	(百万円)				(百万円)			
	10年3月期 下期	09年3月期 下期	増減額	増減率	10年3月期 通期	09年3月期 通期	増減額	増減率
売上高	36,925	38,970	▲2,045	▲5.2%	65,636	75,148	▲9,512	▲12.7%
売上総利益	11,230	12,480	▲1,250	▲10.0%	19,481	23,396	▲3,915	▲16.7%
売上総利益率	30.4%	32.0%	▲1.6pts	—	29.7%	31.1%	▲1.4pts	—
販管費及び一般管理費	9,256	9,168	+88	+1.0%	19,219	18,915	+304	+1.6%
営業利益	1,973	3,312	▲1,339	▲40.4%	261	4,481	▲4,220	▲94.2%
営業利益率	5.3%	8.5%	▲3.2pts	—	0.4%	6.0%	▲5.6pts	—
経常利益	1,998	3,393	▲1,395	▲41.1%	445	4,628	▲4,183	▲90.4%
当期純利益	1,831	933	+898	+96.2%	527	1,357	▲830	▲61.2%

8.2 業種別売上高予想

- 【金融業】 地銀等はまだ厳しいが、大手銀行から新規案件を受注するなど回復の兆し
- 【製造業】 主要顧客向けは堅調も、全体の投資抑制傾向は当分継続すると予想
- 【サービス業】 主要顧客向けが厳しく推移すると予想
- 【流通業・他】 基幹業務・人事管理に対するニーズは堅調に推移すると予想

	(百万円)				(百万円)			
	10年3月期 下期	09年3月期 下期	増減額	増減率	10年3月期 通期	09年3月期 通期	増減額	増減率
金融業	13,060	13,355	▲295	▲2.2%	21,655	24,565	▲2,910	▲11.8%
製造業	13,599	14,749	▲1,150	▲7.8%	24,589	28,929	▲4,340	▲15.0%
サービス業	5,946	6,343	▲397	▲6.3%	11,383	13,433	▲2,050	▲15.3%
流通業・その他	4,319	4,521	▲202	▲4.5%	8,008	8,220	▲212	▲2.6%
合計	36,925	38,970	▲2,045	▲5.2%	65,636	75,148	▲9,512	▲12.7%

8.3 サービス品目別売上高予想

- ✓ 「ソフトウェア製品」は、R&Dの推進、プレイニーワークス／iSiDテクノソリューションズの事業統合によるラインアップの強化等を背景に増収を予想
- ✓ 「アウトソーシング・運用保守サービス」は、主要顧客向けが減少するもその他は拡大を狙う

(百万円)					(百万円)				
	10年3月期 下期	前期との比較				10年3月期 通期	前期との比較		
		09年3月期 下期	増減額	増減率			09年3月期 通期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,609	1,889	▲280	▲14.8%		2,486	3,770	▲1,284	▲34.1%
受託システム開発	11,010	12,043	▲1,033	▲8.6%		18,818	22,443	▲3,625	▲16.2%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	5,861	5,402	+459	+8.5%		9,610	9,782	▲172	▲1.8%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	12,516	12,532	▲16	▲0.1%		22,543	25,222	▲2,679	▲10.6%
アウトソーシング・運用保 守サービス	2,372	2,777	▲405	▲14.6%		5,008	5,938	▲930	▲15.7%
情報機器販売・その他	3,555	4,325	▲770	▲17.8%		7,169	7,990	▲821	▲10.3%
合計	36,925	38,970	▲2,045	▲5.2%		65,636	75,148	▲9,512	▲12.7%

COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

17

＜参考資料＞
個別の業績、および業績予想

COPYRIGHT 2009 INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL - DENTSU, LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

18

◆2010年3月期第2四半期業績＜個別＞

サマリ

(百万円)

	10年3月期 第2四半期	前期との比較			8/7発表予想値との比較		
		09年3月期 第2四半期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
売上高	22,373	28,701	▲6,328	▲22.0%	23,733	▲1,360	▲5.7%
売上総利益	5,745	7,741	▲1,996	▲25.8%	6,342	▲597	▲9.4%
売上総利益率	25.7%	27.0%	▲1.3pts	—	26.7%	▲1.0pts	—
販管費及び一般管理費	7,107	6,640	+467	+7.0%	7,094	+13	+0.2%
営業利益	▲1,362	1,101	▲2,463	—	▲751	▲611	—
営業利益率	▲6.1%	3.8%	▲9.9pts	—	▲3.2%	▲2.9pts	—
経常利益	▲1,001	1,266	▲2,267	—	▲460	▲541	—
四半期純利益	▲754	614	▲1,368	—	▲538	▲216	—

◆2010年3月期第2四半期業績＜個別＞

業種別売上高

(百万円)

	10年3月期 第2四半期	前期との比較		
		09年3月期 第2四半期	増減額	増減率
金融業	5,295	7,353	▲2,058	▲28.0%
製造業	9,201	11,506	▲2,305	▲20.0%
サービス業	4,989	6,795	▲1,806	▲26.6%
流通業・その他	2,886	3,045	▲159	▲5.2%
合計	22,373	28,701	▲6,328	▲22.0%

◆2010年3月期第2四半期業績＜個別＞

サービス品目別売上高

(百万円)

	10年3月期 第2四半期	前期との比較			8/7発表予想値との比較		
		09年3月期 第2四半期	増減額	増減率	予想	増減額	増減率
コンサルティングサービス	574	1,314	▲740	▲56.3%	1,001	▲427	▲42.7%
受託システム開発	5,889	8,136	▲2,247	▲27.6%	6,584	▲695	▲10.6%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	1,861	2,430	▲569	▲23.4%	2,216	▲355	▲16.0%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	8,675	11,088	▲2,413	▲21.8%	9,104	▲429	▲4.7%
アウトソーシング・運用保守 サービス	2,469	2,927	▲458	▲15.6%	2,260	+209	+9.2%
情報機器販売・その他	2,902	2,804	+98	+3.5%	2,565	+337	+13.1%
合計	22,373	28,701	▲6,328	▲22.0%	23,733	▲1,360	▲5.7%

◆2010年3月期業績予想＜個別＞

サマリ

(百万円)

(百万円)

	10年3月期 下期	前期との比較			10年3月期 通期	前期との比較		
		09年3月期 下期	増減額	増減率		09年3月期 通期	増減額	増減率
売上高	34,960	30,783	+4,177	+13.6%	57,333	59,485	▲2,152	▲3.6%
売上総利益	10,232	8,901	+1,331	+15.0%	15,977	16,643	▲666	▲4.0%
売上総利益率	29.3%	28.9%	+0.4pts	—	27.9%	28.0%	▲0.1pts	—
販管費及び一般管理費	8,262	6,302	+1,960	+31.1%	15,370	12,942	+2,428	+18.8%
営業利益	1,969	2,599	▲630	▲24.2%	606	3,700	▲3,094	▲83.6%
営業利益率	5.6%	8.4%	▲2.8pts	—	1.1%	6.2%	▲5.1pts	—
経常利益	2,058	2,773	▲715	▲25.8%	1,056	4,040	▲2,984	▲73.9%
当期純利益	1,483	362	+1,121	+309.7%	728	976	▲248	▲25.4%

◆ 2010年3月期業績予想＜個別＞

業種別売上高

	10年3月期 下期	前期との比較			10年3月期 通期	前期との比較		
		09年3月期 下期	増減額	増減率		09年3月期 通期	増減額	増減率
金融業	11,770	9,388	+2,382	+25.4%	17,066	16,742	+324	+1.9%
製造業	12,961	11,817	+1,144	+9.7%	22,163	23,323	▲1,160	▲5.0%
サービス業	5,922	5,948	▲26	▲0.4%	10,911	12,744	▲1,833	▲14.4%
流通業・その他	4,305	3,629	+676	+18.6%	7,191	6,674	+517	+7.7%
合計	34,960	30,783	+4,177	+13.6%	57,333	59,485	▲2,152	▲3.6%

◆ 2010年3月期業績予想＜個別＞

サービス品目別売上高

	10年3月期 下期	前期との比較			10年3月期 通期	前期との比較		
		09年3月期 下期	増減額	増減率		09年3月期 通期	増減額	増減率
コンサルティングサービス	1,058	1,011	+47	+4.6%	1,633	2,325	▲692	▲29.8%
受託システム開発	10,262	10,217	+45	+0.4%	16,151	18,353	▲2,202	▲12.0%
ソフトウェア製品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	5,803	2,799	+3,004	+107.3%	7,665	5,229	+2,436	+46.6%
ソフトウェア商品 (ライセンス/保守/人的サービス含む)	12,358	10,953	+1,405	+12.8%	21,033	22,042	▲1,009	▲4.6%
アウトソーシング・運用保 守サービス	1,953	2,558	▲605	▲23.7%	4,423	5,486	▲1,063	▲19.4%
情報機器販売・その他	3,523	3,244	+279	+8.6%	6,426	6,048	+378	+6.3%
合計	34,960	30,783	+4,177	+13.6%	57,333	59,485	▲2,152	▲3.6%

II. 今後の経営方針について

代表取締役社長
水野 紘一

中期経営計画(2008～2010年度)施策の実施状況

① 営業力・提案力の強化

- ・ビジネスイノベーション本部(09年4月設置)によるグループ横断型/事業部間クロスセル営業活動推進
- ・営業・技術500名への顧客インサイト教育実施
- ・製造業向け製品開発ソリューション事業のビジネスモデル変革推進中

② 研究開発・製品開発の継続推進

- ・厳しい事業環境下、優先度を見直し厳選。外注費は抑制。
- ・投資実績は、前期を下回ったが、積極推進の基本姿勢は変わらず。

③ 運用保守サービス事業の強化

- ・iSiDアドバンストアウトソーシング事業開始(4月)。順調な立上げ。
- ・(株)ビットアイルとの資本・業務提携(6月)で、事業基盤強化

④ コスト構造の改善

- ・オフショア開発の発注規模は、ほぼ計画通りに進捗中。
- ・管理業務シェアード化による効率化を目指し、子会社(株)iSiDアシストの設立。10月業務開始。

⑤ 人材力の強化

- ・グループ共通ITスキル標準の運用定着化
- ・子会社統合実施にも活用

⑥ グループ体制の最適化

- ・iSiDと子会社(株)ブレインワークス、(株)iSiDテクノソリューションズとの統合実施(10月)
- ・アセアン事業の再編(金融業向け事業およびERPサポート事業へのシフト)

全体観

- ・企業のIT投資抑制傾向は継続
- ・企業業績の底入れに伴い、IT投資は緩やかに再開に向かうと期待



- 企業のIT投資の中期的回復に備え、準備を進める。
- ISIDグループの構造的課題を解決する。

金融業向けソリューション事業

1

大手金融機関向けに、4つの分野(*)を中心に既存顧客・新規顧客をさらに深耕。
業務ノウハウと実装技術を蓄積し展開。

4分野: ①グローバル(国際業務/海外支店)システム ②市場・決済システム ③コーポレートファイナンス
(法人金融サービス)システム④リテールコミュニケーション(個人金融サービス)システム

2

地域金融機関向けに、プレイネットワークスとの統合効果の発揮。
2013年度売上高50億円を目指す。

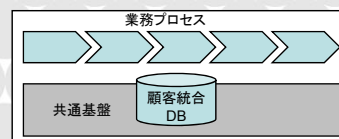
①統合ソリューションBANK・Rの開発

- ISIDとBWのソリューションを統合
- ・共通プラットフォーム化
- ・マーケティング・営業から回収まで一気通貫
- ・業務横断型・顧客中心の業務システム

ISID "RiskTaker"
格付・自己査定/電子稟議/信用
リスク計量化/パーセルⅡ、等

BW
eMarketBrain(コンタクトセンター)
eCollectBrain(延滞回収管理)
eJustBrain(自動審査)等

②統合後顧客ベース(約100社)への拡販 および新規受注の推進



BANK・R
・一気通貫
・共通プラットフォーム
・顧客中心

3

顧客業種の多様化拡充を図る。金融業では証券・保険・リース・カード・消費者金融など。
非金融業は商社等に市場系(取引管理・リスク管理等)システム等を提案。

製造業向けソリューション事業

1

ISID独自のサービスを強化し顧客に提供する付加価値の向上と差別化の促進を図る。

①

製品開発上の個別課題に対応するソリューションメニューの拡充と積極販売。

■既存ソリューションメニュー(70種)

- ・ CAEソリューション
- ・ BOM(部品表)ソリューション
- ・ 設計データ流通ソリューション
- ・ 生産技術ソリューション、等

■新規ソリューションメニュー

- ・ 製品開発プロセス可視化・最適化ソリューション、等

■ISIDテクノソリューションズとの統合後顧客ベース1500社への展開

②

業務プロセス全体の最適化ニーズに対するトータルソリューションサービスの提供推進。IM3C(*)の実現。

(*)IM3C・・・マーケティング、設計開發生産、ERP(マネジメント)の各プロセスにおける情報の流れを、コミュニケーションを最適化する形で一貫通貫に統合するISIDグループのソリューションビジョン

2

顧客業種ベースの拡大を図る。組立加工製造業向けに培ったソリューション、ノウハウを日用品、化粧品、医薬品等の製品開発プロセス改革に展開。

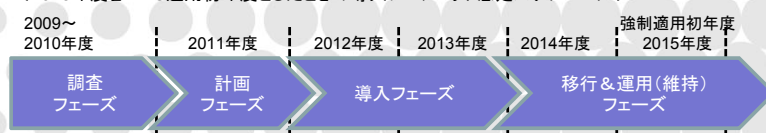
クロスインダストリー・ソリューション事業① 基幹業務/グループ経営分野

1

国際会計基準「IFRS」導入に向けたITサービスの提案促進。拡大が見込まれるIT投資需要を確実に取り込む。

- コンサルティングからシステム構築、導入までトータルサービスを提供
- 販売管理、固定資産管理などから、連結会計・財務会計、管理会計、開示まで幅広い対象業務をカバー
- 2011年度以降、具体的な導入に向けたシステム構築需要の拡大が見込まれ、要員体制のさらなる拡充を図る

<2015年度をIFRS適用初年度としたときの導入プロジェクト想定スケジュール>



2

積極的R&Dを継続し、自社ソフトウェア製品群の機能強化と新規開発を推進する。顧客ニーズに的確に対応し、顧客ベースと収益の拡大を図る。

<基幹業務/グループ経営ソリューションのソフトウェア製品群強化の例>

連結会計ソリューション分野

大手企業向けソリューションの整備と強化

ERP分野

SAP連携ソリューション「Business Solution Series」新製品(海外拠点向き)開発

人事管理(HRM)分野

「POSITIVE」機能強化開発の継続推進

3

ERPは中堅・中小企業向けに新サービスを投入する。

クロスインダストリー・ソリューション事業② マーケティング業務分野

1

電通グループの中期経営計画Dentsu Innovation 2013の推進を、テクノロジーサイドから強力に支援する。

2

電通のクライアント向けに、共同ソリューション提案の実施機会の増大を図る。さらに電通が参画する各種プロジェクトに対しテクノロジー面での支援を推進する。

3

MSP(*)サービスを立ち上げる。販促キャンペーンの実行・管理からスタートし、戦略立案から結果分析まで一連のデータベースマーケティング業務の受託を目指す。

(*)MSP・・・マーケティングサービスプロバイダー。企業のマーケティング業務の受託業者。

ISiDのクラウドビジネスについて

<システム構築事業>

クラウドインテグレーターとしてクラウド上でのシステム構築事業の推進。

<サービス計画>

サービスプロバイダーとしてユニークなアプリケーションサービスの提供。

- 特定顧客向けプライベートクラウド
- 自社開発ソフトウェア製品・仕入ソフトウェア商品のSaaS化/ASPサービス化/BPO提供
 - ・Webキャンペーンシステム
 - ・会計システム
 - ・ERPシステム
 - ・人事管理システム
 - ・プロジェクト管理システム、等
- 新規業務アプリケーションのサービス型提供
 - ・AML(アンチマネーロンダリング)サービス
 - ・個人情報カストディアンサービス、等

<サービス基盤>

- | | |
|----------------|---------------------------------|
| ■ISiD三鷹DC | →基幹システム運用等アプリケーションレベルの高付加価値サービス |
| ■(株)ビットアイル社IDC | →都市型DCの優位性を活かし短期アクセス集中型案件等 |

2013年度売上高100億円を目指す。

構造的課題の解決に向けて

1 成長力の回復 — 内部成長と外部成長をともに図り、成長軌道への回復を果たす。

① 積極的にR&Dを実行し、成長エンジンたるソリューションの開発を継続推進する。

② 事業強化・拡大を目的として、積極的にM&Aやアライアンスを検討・実行する。

2 収益構造の改善 — 人的リソースのグループ内再配置、転籍、早期退職制度の導入を視野に、最適体制を構築することで、販管費削減を実現する。

① 各事業の人員体制の最適化を進め、有償稼働率の適正水準維持を図る。

② フレイネットワークス、iSiDテクノソリューションズとの統合で重複した管理部門の効率化を実行する。

3 安定収益基盤拡充 — アウトソーシング・運用保守サービス事業の強化とクラウドビジネスの推進を図り、ストックビジネスを拡大する。

株主還元(配当)について

**2010年3月期
中間配当**

1株あたり 10円

中間配当金総額 325,835,200円
支払開始日 2009年12月10日

**2010年3月期
期末配当**

1株あたり 10円(予定)

注) この資料に記載しております売上高及び利益の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出しております。
従いまして、予想に内在する不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おきください。